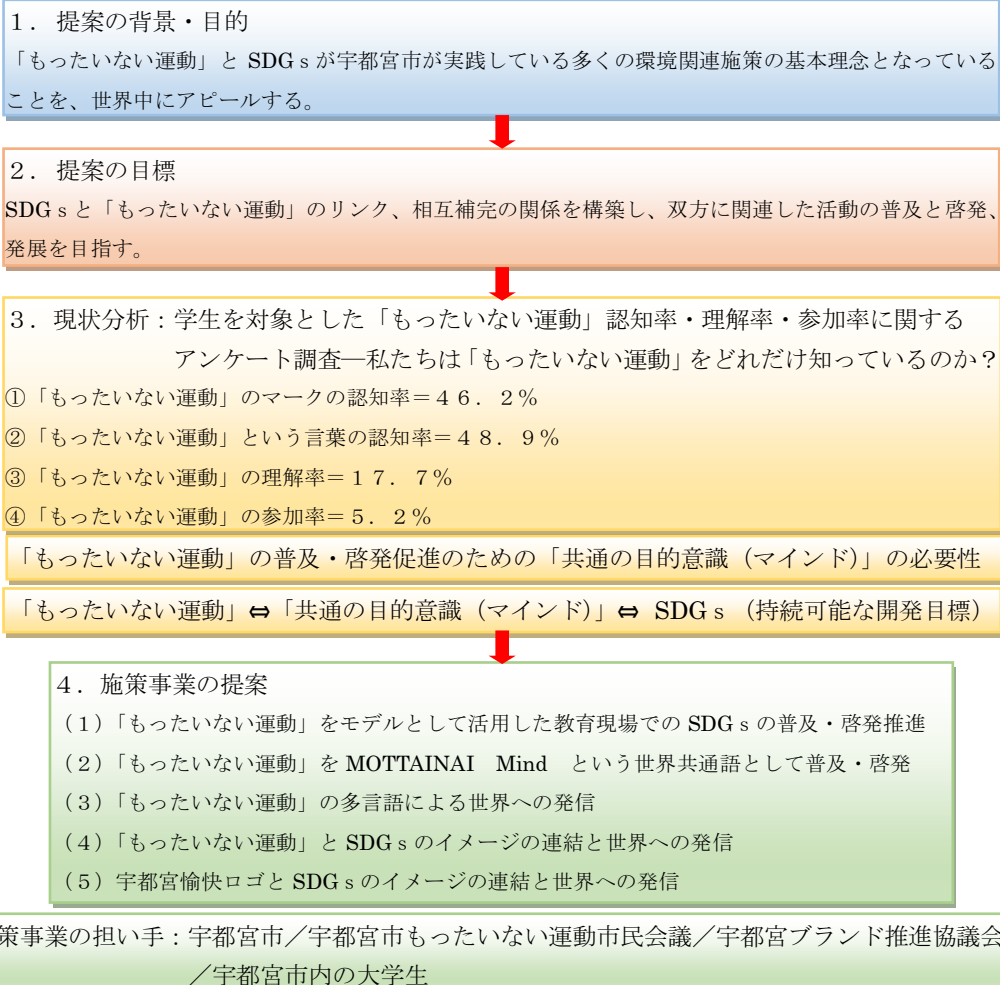


No. 3	提 案 名：もったいないの心 (MIND) から始める SDGs な未来都市うつのみや
	提案団体名：宇都宮共和大学シティライフ学部内藤マーケティング論ゼミ
	所 属：宇都宮共和大学 シティライフ学部
	代 表 者：横森 涼 指 導 教 員：内藤 英二
チーム メンバー	横森 涼 齋藤巧弥 上田綜人 福田勇佑 大金史華 成田歩夢 芳士戸優太 グエン・ティ・トゥエット ルー・ティ・ガ 邵 樺

○ 提案の要旨 (Abstract)

宇都宮市では環境に関連した多彩な施策やそれを達成するための多くの活動が実践されています。「もったいない運動」は、そうした活動の代表的な事例と言えますが、市民による運動そのものの認知や、運動の内容に関する理解、運動に参加したことがあるかどうかという参加の割合等については、運動が開始されて以来、これらの割合を向上させていくことが、常に、大きな課題となっています。これは「もったいない運動」の内容が多岐にわたるため、実際に運動に携わっている人にとっても、運動の目的や目標を明確に表現することが困難である、という課題を抱えています。

私たちの提案では、こうした課題を解決する一つ的手段として、「もったいない運動」とSDGsの考え方の連携・リンクを実現したいと考えます。



1. 提案の背景・目的

具体的には、「何のためにもったいない運動をやっているのか？」という質問に対して、「SDG s 中の特定の目標を達成するため」という答えを、「宇都宮で実践されている代表的な SDG s 達成のための活動は何か？」という質問に対しては「もったいない運動がある」という答えを、運動にかかわるすべての人や多くの宇都宮市民が回答できるような雰囲気を作り出すことにより、「もったいない運動」と SDG s が宇都宮市が実践している多くの環境関連施策の基本理念となっていることを、世界中にアピールします。

2. 提案の目標・SDGs との関連

2030 年に向けての SDG s (持続可能な開発目標) 達成のため、運動開始から 10 周年を迎えた「もったいない運動」の「もったいないの心」を SDG s 達成のための中心的理念(マインド)に設定し、SDG s と「もったいない運動」のリンク、相互補完の関係を構築し、双方に関連した活動の普及と啓発、発展を目指します。

3. 現状分析

学生を対象とした「もったいない運動」認知率・理解率・参加率に関するアンケート調査
—私たちは「もったいない運動」をどれだけ知っているのか?—

(1) もったいない運動

「もったいない運動」を普及、推進するために 2009 年 3 月 27 日に設立された「宇都宮市もったいない運動市民会議」のホームページによると、「もったいない運動」とは、あらゆる地球資源に対する尊敬・感謝(リスペクト)を込めたひとやものを大切にす様々な活動・取組を推進する宇都宮市の活動、と定義することができます。¹⁾

その基本的な活動方針は、以下のような 3 つの「もったいないの約束」に見ることができます。²⁾

もったいないの約束

1. 私たちは、互いに尊重し、思いやりをもってふれあいます。
2. 私たちは、すべてのものに感謝して、その価値を十分にいかします。
3. 私たちは、宇都宮の素晴らしさをみがき、未来に誇れるまちをつくります

また、「もったいない運動」の具体的な活動の内容については、平成 31 年度「第 1 回 宇都宮市もったいない運動市民会議」の中で示された、平成 31 年度「もったいない運動」に関する取組(案)の中で、7 つの普及啓発事業(意識醸成)と 5 つの実践促進事業という 12 種類の活動として説明されています。³⁾

1. 普及啓発事業(意識醸成)

- ①事例集の作成
- ②地域連携事業(with もったいない)
- ③もったいないフェア
- ④多様な主体と連携した情報発信
- ⑤もったいない AWARD
- ⑥もったいない 4 コマまんがコンクール
- ⑦節電キャンペーン

2. 実践促進事業

- ①「もったいない残しま10！」運動
- ②もったいない体操
- ③マイMy運動
- ④もったいないりぶっく
- ⑤もったいない・おもてなし運動

(2) アンケート調査の概要

2事業12種類にわたって展開されている「もったいない運動」ですが、私たち、大学生は10周年を迎えたこの運動について、どの程度のことを知っているか、という点について、まず、明らかにする必要があると考えました。

そこで10月11日(金)、ゼミ指導教官である内藤先生の1時限、2時限の担当科目を履修しているシティライフ学部学生1年から4年の男女96名を対象に、「もったいない運動」の認知率・理解率・参加率に関するアンケート調査を実施しました。

この調査で使用している「認知」、「理解」という言葉は、DAGMAR理論(モデル)と呼ばれている広告効果測定のための広告目標の明確化(Defining Advertising Goals for Measured Advertising Results)で活用される、5段階のインフォメーション・スペクトラム、未知、認知、理解、確信、行動から引用しています。⁴⁾

DAGMAR理論(モデル)は、商品やサービスの販売を目的に展開される広告の効果を測定するための考え方なので、今回は「もったいない運動」の普及・促進の効果を測るための調査であることをこう書いて、第4段階の確信、第5段階の行動については参加というキーワードに置き換えて、調査票を設計しました。

質問項目は、第1に「もったいない運動」のマークを見たことがあるか、ないか(ロゴマークの認知率)。第2に「もったいない運動」という言葉そのものを見たり聞いたりしたことがあるか、ないか(言葉の認知率)。第3に「もったいない運動」の具体的な活動内容を知っているか、知らないか(理解率)。第4に「もったいない運動」に参加したことがあるか、ないか(参加率)。以上4問であり、4問ともに「ある」と回答した場合には、具体的な「もったいない運動」のマークや言葉を見たり、聞いたりしたメディアの種類や参加した活動の内容などを自由に回答してもらうようにしました。

アンケート票は2つの授業の出席票として回収したので、回収率は100%になります。1時間目に既に回答しており、2時間目の授業も履修している学生が回答をしている場合には2時間目のアンケートは無効票としました。

(3) 調査結果

① 「もったいない運動」のマークに関する認知率は46.2%

集計の結果、「もったいない」運動のマークを見たことがあると回答した人数は96人中45人で、「もったいない運動」のマークに関する認知率は46.2%であることがわかりました。

「もったいない運動」のマークを認知した場所やメディアについての自由回答では、市内の店舗(1)、大学のゼミ(3)、小学校や中学校の授業(4)などの回答がありました。

② 「もったいない運動」という言葉の認知率は48.9%

また、「もったいない運動」という言葉を読んだり、聞いたりしたことがあると回答した人数は96人中47人になり、「もったいない運動」という言葉の認知率はマークの認知率とほぼ同水準の48.9%となりました。

「もったいない運動」という言葉を実際に認知した場所やメディアについては、新聞・雑誌・テレビ(二荒山神社前のワイドビジョン?)等(3)、宇都宮市のホームページ(1)、小学生の時の授業(2)などの回答を得ました。

③ 「もったいない運動」の具体的内容についての理解率は17.7%

これに対し、「もったいない運動」が展開してる具体的な活動内容について知っているという回答した人数は、96人中17人で、「もったいない運動」の理解率は17.7%と、マークや言葉の認知率に対して半分以下の割合となることがわかりました。

「もったいない運動」の具体的な活動内容に関する自由回答では、3R(リユース、リデュース、リサイクル)に関する回答(3)、「もったいない残しま10!」運動(2)、宇都宮共和大学シテライフ学部で実施している「まちなかクールシェアコンサート」や城址公園での「もったいないフェア」などのイベント(2)、等の回答がありました。

④「もったいない運動」への参加率は5.2%

「もったいない運動」の一環としての何らかの活動に実際に参加したことがあるという回答した人数は、96人中5人とさらに少なくなり、「もったいない運動」の参加率は5.2%にとどまっていることがわかりました。

参加したことがあるとする回答の具体的な内容としては、中学生の時に参加した公園での空き缶拾い(1)や、まちなかクールシェアコンサート(1)などがありました。

(3) アンケート調査結果から明らかになったこと

—「もったいない運動」普及・啓発のための「共通の目的意識(マインド)」の必要性—

以上、宇都宮市内で学ぶ100名に満たない大学生という小さな集団に対するアンケート調査ではありましたが、このアンケート調査結果を整理し、議論することにより、「もったいない運動」の認知率、理解率、参加率を向上させるためには、次のような3点について、留意する必要があるという結論に達しました。

①「もったいない運動」の認知や理解については、小・中学校での体験や大学での授業、あるいは社会貢献活動などがきっかけになっている。

②「もったいない運動」の理解率が認知率と比較して低い水準にあるのは、自身が認知した運動が、何のための展開されているのか?という点が曖昧であるために、活動の内容を「もったいない運動」の一環として理解することが難しいため、言い換えると、この活動は何のために展開されているものなのかという「共通の目的意識(マインド)」が明確になっていないため、と考えられる。

③同様に参加率が低いのも、展開されている活動に関する「共通の目的意識(マインド)」が不明確であるため、自身が参加した活動が「もったいない運動」の一環であるという形で記憶されにくくなっているのではないかと考えられる。

以上の調査と考察から、「もったいない運動」の普及・啓発を促進するための「共通の目的意識(マインド)」の必要性が明らかになりました。

冒頭で説明したように、「もったいない運動」は、あらゆる地球資源に対する尊敬・感謝(リスペクト)を込めたひとやものを大切に様々な活動・取組と定義することができ、その活動内容の多くは地球環境と密接に連携・リンクするものです。このため、今回の提案のテーマとなっているSDGs(持続可能な開発目標)の考え方は、「もったいない運動」の「共通の目的意識(マインド)」として、相互補完的に、常にペアで普及・啓発を行うことができると判断しました。つまり「もったいない運動」の「共通の問題意識(マインド)」はSDGsの考え方であり、SDGsの普及・啓発のための「共通の問題意識(マインド)」も「もったいない運動」である、ということになります。

4. 施策事業の提案

以上の考察をもとに、以下に私たちが考えた具体的な施策事業の提案を述べます。これらの施策事業の提案の基本は、「もったいない運動」とSDGsの双方の普及・啓発のために、両者の連携・リンクを構築することにあります。施策の範囲は宇都宮市内、日本国内だけでなく、両者の連携・

リンクの実態を広く国際社会に普及させることを目指しています。

(1) 「もったいない運動」をモデルとして活用した教育現場でのSDGsの普及・啓発活動

小学校や中学校での体験や大学での授業や社会貢献活動を通じて「もったいない運動」の認知や理解が始まっていた、というアンケート調査の結果を踏まえて、教育現場での「もったいない運動」とSDGsの普及・啓発活動の展開の強化を提案します。

現在でも、「もったいない運動」では、もったいない体操を市内の保育園、幼稚園の園児たちと保護者が一緒に踊るイベントとして「もったいない体操」の活動を展開していますが、こうした教育現場での普及・啓発活動に際して、導入部分で「もったいない運動」をモデルとしたSDGsの解説などを実施します。小学校、中学校、高等学校等においても、同様の出前授業や、イベントを積極的に展開します。大学では、学生が主導する大学祭や大学所属の研究機関が主催するシンポジウム等の様々なイベントを活用して、同様の普及・啓発活動を展開します。

(2) 「もったいない運動」をMOTTAINAI Mind という世界共通語として普及・啓発

今回の学生提案のテーマを「もったいない運動」に設定したときに、まず最初に私たちが想起したのがこの提案です。つまり、「もったいない運動」のイメージをMOTTAINAI Mind というアルファベットで表記し、世界共通語として、宇都宮市や宇都宮市もったいない運動市民会議のHPや便せん、封筒、通信用のメール文書などのレターヘッドとして活用します。

(3) 「もったいない運動」の多言語による世界への発信

宇都宮市内の外国人留学生の協力を得て、「もったいない運動」の内容を、多言語に翻訳し、市役所や宇都宮市もったいない運動市民会議のホームページに掲載します。例えば、市役所のホームページから閲覧できる「もったいないの約束」について、私たちのゼミのメンバーの留学生が母国語である中国語とベトナム語で翻訳すると、以下のような文章になります。これを各種のホームページにアップして、世界中で閲覧できるようにする、という提案です。

①中国語の翻訳事例

もったいないの約束 「珍惜」准则（约定）

宇都宮に住み、学び、働く私たちは、地球上にあるすべてのものに、尊敬と感謝の気持ちを持ち、ひとやものを大切にする「もったいない」のこころを育てています。/在宇都宮生活，学习和工作的我们，应对地球上存在的一切保有尊敬和感谢之情，培养一颗珍惜所有人和事物的心。

このまちの古き良き歴史や恵み豊かな環境をはぐくみ、かけがえのない美しい地球を未来につないでいくため、これからも「もったいない」のこころを広げ、日々、行動することを約束します。/为了更好的维护这座城市悠久的历史，富饶的环境以及将无法替代的美好地地球与未来相连，现在起将「珍惜」的心扩散开来，每日付诸行动来做以下约定。

1 私たちは、互いに尊敬し、思いやりをもってふれあいます。/我们应相互尊敬，以关怀他人之意去互相接触

私たちは、多くのひととのつながりの中で、互いに支え合い、助け合いながら生活しています。様々な場面で、「ひとへの思いやり」を大切にして行動することを約束するものです。/我们要以互相关心互相体谅的心情去交往。在各种场合中，「体谅他人」是行动的重要准则。

次のことなど、できることから取り組みましょう。/以下的事项，从力所能及的开始入手吧。

- 他のひとに手をさしのべ、お互いに助け合う。/向他人伸出双手，相互帮助。
- 相手の気持ちになって考え、行動する。/站在对方的立场上去思考并付诸行动。
- おもてなしのころでお客様をお迎えする。/用心去接待顾客。

2 私たちは、すべてのものに感謝して、その価値を十分にいかします。/我们应对所有的一切抱有感谢并且让它的价值得到十足的发挥。

地球上にあるすべてのものは、自然の恵みや人々のこれまでの努力があって存在しています。つい忘れてしまいがちなこれらに感謝の気持ちを持ち、すべてのものを大切にすることを約束するものです。/地球上所存在的一切都来自于自然的恩惠和人们迄今为止所作出的努力。轻易不知不觉中忘记的事物应怀有感谢之情并且去好好珍惜。

次のことなど、できることから取り組みましょう。/以下的事项，从力所能及的开始入手吧。

- ものが作られるまでの時間やひとの労力に感謝し、ものを最後まで使い切る/对物品制作完成为止所花费的时间和人们付出的精力抱之感谢，做到物尽其用。
- 地球上の限られた資源を有効活用するため、リサイクルに取り組む。/为了有效运用地球上有限的资源，采取可回收循环利用。
- 自然の恵みに感謝し、水や緑を大切にす。/感恩大自然的恩惠，珍惜水和绿化资源。

3 私たちは、宇都宮の素晴らしさをみがき、未来に誇れるまちをつくります。/我们应仔细打磨宇都宮的精华处，打造未来能令人称赞的城市。

私たちが住んでいる宇都宮の豊かな自然や歴史・伝統・文化を次世代に継承しないのはもったいないことです。このような宇都宮の素晴らしさを知り、みがき、未来につないでいくことを約束するものです。/无法让后代感受到我们现在所生活的宇都宮的富饶的自然，历史，传统以及文化是一件非常可惜的事情。我们应将现有的宇都宮的精彩处传承，打磨并且和未来相连。

次のことなど、できることから取り組みましよう。/以下的事项，从力所能及的开始入手吧。

- わがまちの伝統や文化をみがき、大切にす。/重视这座城市的传统和文化并好好打磨它。
- わがまちの歴史を子どもに伝える。向孩子转述这座城市的历史。
- わがまちの新たな文化を創造する。创造出属于这座城市的新文化。

注：「もったいない」という言葉は中国語で元々「節約」を意味し、「珍惜」には「大切」という日本語の意味があります。しかし、全体から見ると、「珍惜」が最も適切だと思います。

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/kankyo/mottainai/1005443.html>

翻訳：宇都宮共和大学シティライフ学部2年 218A509 邵樺

②ベトナム語の翻訳事例

もったいない運動推進マーク (kí hiệu : thúc đẩy phong trào không lãng phí)

宇都宮では、ものを大切にす「もったいない」のころと、人を思いやる「おもてなし」のころが、行動に結び付くように、「もったいない運動」に取り組んでいます。

(ở utsunomiya đang nỗ lực hành động gắn kết phong trào không lãng phí, chúng ta cần nhiệt tình quan tâm và hưởng ứng phong trào, không lãng phí rất được coi trọng ở thành phố này).

もったいないの約束 (cam kết không lãng phí)

宇都宮に住み、学び、働く私たちは、地球上にあるすべてのものに、尊敬と感謝の気持ちを持ち、ひとやものを大切にする「もったいない」のこころを育てています。

(Chúng ta sống, học tập và làm việc tại utsunomiya, Tôn trọng và đánh giá cao mọi người và mọi thứ, Nâng cao tinh thần của không lãng phí.)

このまちの古き良き歴史や恵み豊かな環境をはぐくみ、かけがえのない美しい地球を未来につないでいくため、これからも「もったいない」のこころを広げ、日々行動することを約束します。

(Để nuôi dưỡng lịch sử tốt đẹp và môi trường phong phú nơi đây, Để kết nối trái đất xinh đẹp không thể thay thế với tương lai, Chúng tôi hứa sẽ mở rộng tinh thần không lãng phí và hành động mỗi ngày.)

1: 私たちは、互いに尊敬し、思いやりをもってふれあいます。

(1 : Chúng tôi tôn trọng lẫn nhau và tương tác với nhau bằng lòng trắc ẩn.)

2: 私たちは、すべてのものに感謝して、その価値を十分にいかします。

(2 :Chúng tôi đánh giá cao mọi thứ và tận dụng tối đa nó.)

3: 私たちは、宇都宮の素晴らしさをみがき、未来に誇れるまちをつくります。

(3 : Chúng ta sẽ làm cho sự lộng lẫy của Utsunomiya và tạo ra một thành phố có thể tự hào trong tương lai.)

平成 21 年 9 月 27 日約束

(lời hứa ngày 27 tháng 9 năm 2009)

宇都宮市もったいない運動市民会議・宇都宮市

(Hội nghị Công dân Thể thao Thành phố Utsunomiya, Thành phố Útsunomiya)

一人ひとりができることは小さなことでもみんなでやれば大きな力にまず、できるところから始めっぺ!

(mỗi người có thể làm từ những việc nhỏ nhất, và khi chúng ta làm cùng nhau, chúng ta sẽ bắt đầu với một sức mạnh tuyệt vời!)

毎月 1 日は「もったいないの日」~日々の行動を振り返ろう~

(ngày đầu tiên của mỗi tháng là ngày 「không lãng phí」 ~hãy nhìn lại các hoạt động hàng ngày~)

翻訳: 宇都宮共和大学 . シティライフ学部 2年 218A504 グインティトウエット

<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/kankyo/mottainai/1005443.html>

(4) 「もったいない運動」と SDG s のイメージの連結と世界への発信

第4の提案は、宇都宮市が「もったいない運動」と SDG s の双方の普及・啓発のために、両者の連携・リンクを目指しているというメッセージを、世界中のだれが見ても理解できるように、非言語で、ロゴマーク等のビジュアルイメージの組み合わせによって表現し、世界に発信する、というものです。

著作権の問題をクリアする必要がありますが、例えば「もったいない運動」マークと SDG s の 17 の目標を表すカラーサークルという二つのイメージを、宇都宮市のマスコット・キャラクターであるミヤリーで連結するというアイデアも出ています。

(5) 宇都宮愉快ロゴと SDG s のイメージの連結と世界への発信

第5の提案は、上述の4つの提案を考える過程で派生的に生まれました。

「もったいな運動」の推進母体である宇都宮市もったいな運動市民会議は、宇都宮市が展開している「宇都宮愉快ロゴ」にも登録し、「勿体無 愉快だ 宇都宮」というもう一つのロゴを活用しています。

「宇都宮愉快ロゴ」は、宇都宮市を全国にPRするために考案され、宇都宮市の良さや魅力をアピールするために活用されています。⁵⁾ 最初の三文字と背景の色を選択し、使用申請をすればだれでも自由に使用することが可能で、現在、宇都宮愉快ロゴを登録している団体は1017に上ります。⁶⁾

提案では、「もったいな運動」のもう一つのロゴである「勿体無 愉快だ 宇都宮」とSDGsの17の目標を表すロゴとの連結を考えました。宇都宮市もったいな運動市民会議では、3. 現状分析の(1)もったいな運動でも紹介した12の活動について、SDGsの17の目標を示すカラーロゴを利用して、双方の共通点を説明する工夫をしています。「もったいな運動」が展開している12の活動のひとつひとつがSDGsでかかげられている17の目標のどのどれと関連しているか、どの目標を達成するために、その活動を行うのかという、「共通の目的意識(マインド)」の説明として、大変有効な方法であると考えました。

そこで、私たちの提案では、このアイデアを発展させて、縦軸に「もったいな運動」の12の活動、横軸にSDGsの17の目標ロゴを配置して、双方の活動と目標が一致する位置にミヤリのキャラクターを置くことで、「もったいな運動」がSDGsの目標とどのように連携・リンクしているのかが一目でわかるように配置してみました。このイメージイラストを、宇都宮市、宇都宮市もったいな運動市民会議、宇都宮ブランド推進協議会等の関連団体のホームページにアップし、世界中の人々が閲覧できるようにします。

このアイデアをさらに発展させて、宇都宮市もったいな運動市民会議を含む1017団体が登録している1017種類の「宇都宮愉快ロゴ」の全てについて、個々の団体の活動内容とSDGsの目標との連携・リンクをイメージしたイラストとして表現し、各種のホームページにアップすることができれば、宇都宮市によるSDGsへの取組に世界中の注目が集まることとなります。

具体的には、2年間の期間を設定して、宇都宮愉快ロゴ登録団体の2年後の総数を1200と想定し、全ての団体の活動内容と17種類のSDGsの目標との連携・リンクを表すイメージイラストを作成して、各種関連団体のHPにアップします。双方の連携とリンクの実態を明らかにするための資料収集、登録団体へのヒヤリング調査、イメージイラストの掲載許可等の作業を実施するにあたっては、宇都宮市、宇都宮市もったいな運動市民会議、宇都宮ブランド推進協議会等の関連団体と、宇都宮市内の大学生が協力することは、言うまでもありません。

【参考文献】

- 1) 宇都宮市もったいな運動市民会議、宇都宮市もったいな運動市民会議ホームページ、宇都宮市もったいな運動市民会議について、
<https://www.u-mottainai.com/>
- 2) 宇都宮市もったいな運動市民会議ホームページ、もったいな運動ってなに？
<https://www.u-mottainai.com/>
- 3) 2019年4月5日(金)開催、平成31年度「第1回宇都宮市もったいな運動市民会議」資料より
- 4) マーケティング用語辞典一増補版一、同文館、平成7年、
広告理論の基礎を振り返る④「DAGMAR理論」について、デジタルサイネージ・集客コラム、https://www.irodorinet.jp/attracting_customers/dagmar/
- 5) 宇都宮市ホームページ、ロゴマーク 住めば愉快だ宇都宮、
<https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/shisei/gaiyo/symbol/1007491.html>
- 6) 宇都宮部ブランド推進協議会ホームページ、愉快的取り組み：宇都宮愉快ロゴ、
<https://u-pride100.com/logo/>